

---

# 風のグラスゴー

玲於奈

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

風のグラスゴー

### 【Nコード】

N3881Y

### 【作者名】

玲於奈

### 【あらすじ】

英語のため 海外留学体験記

## 海外留学体験記

なぜ、私はここにいるのだろう。  
気がつけば、ここにいた。

空がほんとうに高い。青空が広がっている。  
ここまで空が青いとは。  
息をのむような青さ。  
宇宙に広がっているのか。

飛び降りる。  
飛び降りるふりをする。  
わからない。

そして、そんな自分に笑う。  
なぜ、笑うのだろう。

しかしながら、崖沿いの葉がきれいだ。そして、私はここにいる。  
何をしにきたのだろう。  
全くわからない、切り立った崖、断崖の絶壁。  
私は死のうとしているのだろうか。  
わからない。なぜかわからない。

## 第二話 日本食で悶絶

死ぬ前に食べたあああああ。

エビフライおにぎりー！ー！。

ご飯でえびフライが包まれていて

見た目は、コンビニの、チーズとか入ったやつ

でも、ご飯で勝負の一品。

地元は、みんなおやつはそれ。

知るかあ。(読者の叫び)

地元の名産。

こんな外国でだれもしらんべ。

日本食食べなくて、何ヶ月目だ。

おいしいんだぞう。

死ぬ前に食べ物とは、情けない。

それが欲求不満の原因なのか。

これで、死んでいいのか。

泣けてくる。つまらない人生。

こんなことのためにここまで来たのか。

そう思うと、あのだいつきらいな中学時代を

思い出した。

英語なんて、くそくらえの、時代。

なんで日本人なのに、英語を話さなければならぬのか。

なんでなのだろう。

彼が英語嫌いなのは(前書き)

なし

## 彼が英語嫌いなのは

英語がだいっきらいのは、  
ひとえに中学校の担任の影響が  
大きい。

中1の担任は、吉原ていちゃー、国語教師。

温厚な先生だった。

今、思えば、日本語は先生のために  
あるようなものに思えた。

その後、大学までいったが、  
あのような温厚な先生をみたことがない。

とつとつと、語っていた。

特に、昔のやつ。

なんだか忘れたが、徒然草だかなんだが、  
とても冴えていた。

というか・・・

こちらが初めてだったので衝撃だった。

「佐藤君、おかしという古語の意味がわかりますか。」

おやつだと思った。

佐藤君の家は、開業医で、万事そつなく、クラスの人気者。

彼が、「趣があることです」

と言った時、何をこの人は、言っているのか。

と思った。

しかしながら、吉原先生が

優しくうなずきながら、正解です。

よく勉強していますね。

と言った時、本当に驚いた。

本当に本当におどりやった。



お泊まり会（前書き）

なし

## お泊まり会

担任の吉原T、以後ティーチャアの略でTとする。

吉原Tは優しかった。

近隣の学校の、学校での宿泊を伴う  
レクリエーションを禁止しましょう。というお達し。

F中、だめ。

A中、ばつ。

G中、だめだめ、だめ、接待ゆるさん。  
もとい、絶対ゆるさん。

絶対に悪意を感じる。

中体連で知り合ったやつらからのメール。

親切だ。

情報をありがとう。

うちでながしたんだけどね。

先生の間でおったされたのだろうか???  
言葉がわからないが・・

相当の包囲網。

まさに万事急須。

きゅうすは、これでいいのか。  
教えてくれ。誰に言っているのだ。

ところが、

ところが、ところが、Y T

(吉原Tをさらに略す、本人Y K Kでよぶな。意味不明)

頑として無視。

全くもって、学級に任せてくれた。

そして、開催された。

なんだかわからないけど、学校で泊まるっ!!!

お泊まり会（後書き）

なし

**学級委員の命令(前書き)**

なし

## 学級委員の命令

学級委員長の命令!!

というか、期待やつ。

来たいやつだけ来ればいい。

ということ学級の内容。話し合いでもよくわからず。

開催!!!!!!

よくまあ、Y T (吉T許したな。)

というか、よく承認されたな。

というか、学校に無許可なんじゃないの???

と言つ話も後日、後日あり。

内心、心穏やかでない。

内申に響く。響くよね。

そのような方は、適時解散。

いちお様子はみにきたよ。

というか、

E美、「頑張つて!!」

(何を頑張るのか、うちらもわからない)

と言って、ジャンクフードの差し入れ、ありがたい。

100苑、なんとかでないと買いにいけないものばかり・・・

というか、こちらは午後7時に学校に集まり、何をするでもなく。

なんとなく、学校の周り。

扉にそってぶらぶらし。

多目立つ。との声で。

なんとなく燦々午後。(いいのか、漢字検定合格者教えてくれ)  
たびたび思うが、誰に言ってる!!!!!!

学級委員の命令（後書き）

なし



警備の小池さん(前書き)

なし

## 警備の小池さん

警備の小池さんに迷惑かけるな。

誰かがざわついた。

小池さん。頭があがらない。こないだ、R損に、逃げだすところを

見逃してくれた。というか、授業中、

というか4時間目終わり。

というか、給食あるのになぜ……。某I数学教諭と  
息のあわないもの多数。

意味不明。

さらに、さらに、小池さん、三者面談のばっくれ。

うちら怪しいから。わかるよねえ。

協同不審。わかるよ。

職員室からもなんか言っているとされる。

見逃してくれる。誰もがありがたいと思われること

二度や三度や、四度、五度……

仏の顔も三度まで。

坊主になった人もいると聞く。が、人生買われるのは素晴らしい。

そして、そして、そして。。。。

さらに、強力妨害キャラ。

まさに、ボスキャラ。

進路指導のPT、もとい、P教諭。

だっただじゃすまない。昼休み。終わることなく、放課後の

説諭。意味はわからないが、自称説諭。なんたる。

自称はなに。ろんげなの。いやかつら、失礼アデランス。

これは古いか、とっさんのことでみんな言う。

(教えてください。誰に言ってる)

わからないが。みな恐れるとおり、説教ワールド。

さらに、時々、私立の娘さんの説教も入る。多分・・・予感。

なぜか、涙ぐむ。こちらに関係ない事いう。

特に、業者テストの点。おかしい。そんなにとれない。

警備の小池さん(後書き)

なし

keroro (前書き)

なし

keroroく0500

昨日の悪夢がよみがえる。

怒られの、冷の感情が入ってしまった。話をもどそう。

みんなが、なんとなく散策、部活の忘れ物、

生徒会、部活、単なる教室もどりを装い、

単純に忘れ物を装い、

塀に沿って、さりげなく学校に近づく

忘れ物などを理由に校内に入る。

小池さん、聞いてないふり。うまい。さすが。

というか、最初から学級レクと言え!!!担任。

そこが担任をせめられないところ・・・

そして、笑えるのが何をするのでもなく。

なんとなく、氣にいった教室に行く。

そして、そして、

氣にいった仲間朝まで過ごす。との指令。

これって学級レクなのか。

もちろん、担任は、成績処理とのできょうとーに許可をとり、職員室のセコム、操作。。。らしい。

くわしくは、トップシークレットとのこと。

おいおい。あんたは、トムハンクスか。M I 5か。

と・こ・ろ・で。K君。

なぜ。毛布がある！！！！！

というか、ろうそくはやめろ。

セコム来る。

というか、てんと教室にはるなあああ。

くれよんしんちゃんかあああ。

なんとなく言ってみました。

というか、その山岳ザックやめろ。

よく怪しまれなかったな、というか、山岳部か。

K男。みんなの荷物運び。やるなあ。

山岳部さまさま。

えらい。

みんなそれぞれだらだらモード。

きよーとーも、校長が帰ったので、すばやく6時帰り。

他の教員には、さすが、担任、それぞれに工作。

K朝なみ。

パチンコ好きのOT、まぎらわしい。

人文字か？O教諭だろ。

駅前、Mはんの大出血サービスのちらし。

さらに、K、F、ATには、コンパの誘い。よく看護学校とつきあいあったな。

それだったら、担任結婚しろ!!!。

悪いことはいわない、シャツ2度着はやめろ。召集・・・かけられるぞ。

なかなか暗号チック。



独身の居残り組。まだいた、

単純にいかない。フラワーアレンジメント、僕と一緒に行きませんか。

よくやるね。担任。愛を感じる。

ふつうひくよな。

行くか、帰るか。

.....

帰ったか。

担任の今後を祈る。

まあ、休みも近いし.....

しかしながら、

よかった。これで、学校占拠。

あとは、もとい、誘惑の聞かない機械。

ロボコック、

S 込むのみ、 氣をつけるべし。

べし。べし。

keroro (後書)

なし

いと おかし(前書き)

なし

いと おかし

微妙な学級レク。

まあ正規じゃないからね。

でも、なんとなくみんな満足そう。

学級全員いるんじゃないの。

委員、点呼もしていない。自由です。

しかし、

なぜか、なぜか、正面玄関に集う者。多数。

なぜ。

なんとなく集まり、なんとなく、だべる。

探検するかとの話。

まあ、2、3人でまわっていろいろのこと。

でも、勝手に教室でござござやっている者もいる。

怪しい意味も可。

お化け屋敷の逆バージョン。

教室にいる方がびびる。

誰かが叫ぶ。

担任はどうした。

嘘とはいえ、フラワーアレンジメント  
シヨックのようだ。

何か泡の出るジュースを飲んでいる。

そっとしておこう。

みんな同意。

さっそくなんとなく探検始まる。

時間は22時。

丑三つ時には、まだ早い。

こんだけいい担任だから、参りをするやつはいないだろう。

某数学教諭は危険。

廊下を歩くのが静か。

どろぼうだ。

しのびあしだ。

バレミみたいな、当シューズ？やめーい。

ていつか習ってたのか。

K子の借りるな。

男がやるな。

図書室、カーペットびき。

開ける。寝てる。何時に寝るよねん。

陸上部のY。朝練疲れか。

丑三つ時に起きるなよ。

祈る。祈祷するな。

十字きるな。

次。

理科室。

さすがに、ここはこちらもこわい。

ここも電気消えている。

誰もいないのか。

がらっと開ける。

怪しい光。

やばい。

でたか。

何でやねん。

電気部か。おたくのつどいか。

鈴虫に、蛍光塗料塗るなよ。

こわい。物体鳴く鳴く。

それを観察するな。

しかしながら、電気部の新たな進化。

集団。協力。

というか、他の学級まで集うな。

ただちに箝口令。そして、撤収。

解散。



こうして理科室は無人となった。

担任も ろぼこっＴ上 楽だろ。

なんだか疲れてくるもの、途中でいなくなるものありけり。

どうでもよくなったのか。

23時で、某アイドル番組に流れるもの。

にんぐむ に流れるものもあり。

いと おかし。

ていうか、この表現あり？

ていうか、なんでみんな携帯テレビ持ってるの？

というか、携帯でテレビ見てるやつ。パケット料金大丈夫か？

なんとなく、それぞれの部屋に解散。

だべりんぐ開始でしょう。

ところで、

女子は、なんであんなにお菓子もってるわけ。

いと おかし(後書き)

なし

しじみじぞきり(前書き)

なし

## うしじきどき

さて、時刻はてっぺんを迎えた。

べし、べし。

蛍光灯の電氣をつけると

怪しまれるとのことで、懐中電灯。

もしくは、キャンプ用のライト。

もちろんろうそく不可。電池用。

おいおいなんだ。

ここは三階だぞ。

あの怪しい光は、まっすぐこちらに

向かってくるぞ。よもや。

人だまか。

丑三つ時への前兆か。

ここらは、昔、墓地だった。うしじきって。

電氣部の吉田やめろよ。そんな古典的な。

もとい、陸軍の軍舎だったって。もっとぶるぜ。

って、トイレの扉を半開きで、体、半身で話すな。

おまえはトイレの花子さんか。

なになに。人だまの原理は。

人間の骨にあるリンです。

おいおい電気部、科学的知識できたか。

まじ、だぜ近づいてくるぜ。

音もないぜ。

あああああ!!!

ああびつくりした。

おいおい山岳部のK男か。

ところで何してるんだ、あんた一人で

こんな長い廊下歩いて怖くないのか。

なんだよ。ザック化よ。

さらに巨大に見えるぜ。

さらに、ヘッドランプかよ。

マニアックなもの持ってるな。

高い位置にヘッドランあるから、

長い廊下歩いてくるとまあ怖いぜ。

なになに、山でガスった時の方がもっと

こわい。一步まちがったら崖から転落。

まさに一寸先は闇。

おはなし〜しまししょうか〜。

おいおいこんなところで、お百度話か。

って話、途中なのに、どこ行くー！ー！。

べしべし。

ガスのりの時の訓練に持ってこい。

なんじゃそりゃあ。

うしじみじどきた(後書き)

なし

asamaまで

テレビ(前書き)

なし



asaまで テレビ

って、ひきもどすな。

なになに。

ここまで来たら朝まで、生テレビ。もとい、

限界に挑戦。ギネスに挑戦。

誰が最後まで起きているか!!!!!!

おいおいなんじゃそりゃあ。

いえつつついつて、何で急に大勢

出てくるんだ。

さらに、なんじゃその録音器具は、

なになに、放送部のK田が、

「ビックリ日本新記録!!! ぱくり晩」で収録して

どこかで使いたいつて。

ぱくり晩。。。。

晩って何よ。

そして、どこで使うのよ。

えっ、ユーチューブ。

おいおい、ユーチューブって

テープとかの録音流せるのか??????

なんか適当に言っていないか。

まあ、いいいか。やれやれ。

いえーいーいって、あんたら、テレビの

おばちゃん笑い声かよ。収録かよ。

って曲流れるなよ。

っていうか、K田、なんでビックリ日本新記録の曲

持ってるのよ。

なになに、前に錦のあきらが出た、めっちゃいけの

やつから持ってきた。あんだ、よく撮ってるね。

えらいよ。

「みなさん、こんにちは、今日もやってまりました、

ビックリ日本新記録ぱくり晩のお時間です。」

って、あんたうまいね。

なんとかっていうアナウンサーによく似てるよ。

「本日も解説に東海林さんを迎えて、、、なんとらんたら」

ってワイドショーかい。しぶいよ。

E のー

k ー ー。

ぼ m。 B -。 い ー ー。

なんだ、なんだ、なんだ、このフェッドアウトしたところからの

小さいミュージックのインは。

いえー ー ー ー。

ってなんだこの大歓声。深夜だぜ。

いの、ボンバーいえ。

いの ー ー、ぼんばー ー ー

って、体操部。踊るなよ。

おいおい誰だよ。リング作るなよ。

っていうか、リング上に後ろから光イン。

バックライトかよ。後光のようだけ、

誰だあの覆面は。

一瞬間。

つうか担任かよ。つうか、ちょっとした学園祭の余興か。

担任、首とか体すげー赤くないか。飲み過ぎだ。

覆面とるなよ。顔開けー。つうか大ジヨブか。

おいおい本当に戦うのか。

戦うのか>>>。

asamaまで

テレビ(後書き)

なし

時を×少女(前書き)

なし

## 時を×少女

喧噪の後の静寂。

なんだか狭い空間だ。

白い小さい石がたくさん。

足の感触がこちよい。

そうか玉砂利か。なぜ。

周りにしきつめられている。

その中央には。

長方形の木の枠。まわりは、いい木だ。

く調子にのっているわけではない。

いいにおいがする。

その中に、どんよりとした物体。

もやっている。

そうか、湯船か。

浴場だ。

壁までそんなにない。窮屈な感じがする。

何人かの人がいる。けっこくにぎわっている。

ざわつきが聞こえる。

今、気がついたが。裸じゃないか。

脇に、脱衣かご。なんで、ここに。

あるんだ?????

なんだ。

なんだ。なんだ。なんだ。

誰かが、声をかけている。

思わず、玉砂利を浴槽に落としてしまっ。

「なにやってんじゃ。てめえ。」

一声に体がこわばる。

その拍子に、また白い石をいくつか

木の枠から滑り出し、浴槽に落としてしまっ。



静かに沈んでいく石……。

浴槽の中で小さな泡があがっている。

よく見ると、石から泡がでている。

「おんどりゃ、何、ぬかすか。」迫力がある。

本氣と書いてまじと読む。古い。

相当怒っている。ギャグじゃない。

強ばる顔、体を押さえて、相手の方を観る。

湯船の向こうに。相手が見える。

いったい。何者……。

あなたは誰……。

ここはどこ……。

わたしは一体誰……。

何を私はしているの……。

時を×少女の曲。

小さくイン。

小さくはいつて大きくなっていく。CM

なんじゃそりゃあ。

時を×少女(後書き)

なし

わんこそば(前書き)

なし

わんこそば

どうやら、強面のおっさん。

年齢60歳くらいか。やや不詳。

しぶいし、怖い。

浴槽に落とした石。

脱衣かご。

その事で

お怒りのようだ。

改めて、浴槽を見ると。

周りには、老若男女(さてなんて読むでしょう) )

多数。

子ども連れもいる。

だが、みんなの眼は冷ややか。

怒られて当然の様。

暴力バーではないらしい。

あわてて、石を拾おうとするが、

体を流していないらしく、

さらに罵声を浴びる。

だがどうすることもできず、

腕を伸ばして石を拾う。

拾って脇の玉砂利に戻す。

全部は拾いきれない。

いいかげんあきらめて。

「ごめんなさあああい。」と弱々しく叫んで

この場から逃げ去る。

かごを脇に抱え、

浴場の向こう側に行く。

よくよく見れば、浴場の向こう側には、

脱衣所が整然と並んでいる。

なぜ、私だけが。。。

また音楽がインしそう。

頭がいたい。

多くの人のざわめき。

誰かが何かを呼んでいる声がする。

ここはど。。。

張りのある何かがふる。

声がする。

若い声だ。

慌てて、かごの中野、ものを。。。

ざわつきが大きくなる。

私を呼んでいる。

なぜ呼ぶ。どンドン、呼ぶ声が近づく。

突然。

誰かが私の前に立つ。

なぜ。

本当になぜ。

若い女性。20代前半と思われる。

岩手のわんこそばの衣装????のような。

かすりの着物を着ている。

赤い帯がまぶしい。

「様、行きつけのお店 大将。」

大将のマスター様に選んでいただきました、

陛下もご賞味されたまんじゅうそばに

なります。」

なにを言っている。

なんで、私の名前を知っている。

行きつけの 大将。

なつかしい。断るが、

餃子のお店ではない。

少しうれしい。個人情報流出しているが。



脱衣場の向こうに、テーブルが広がる。

わんこそば(後書き)

なし

白い巨塔(前書き)

なし

## 白い巨塔

広がったテーブル郡、

意外に部屋は思ったよりせまい。

10畳くらいか。

いくつか、何か置いている。

自分の名前が殴り書きされている。

小さい四角柱の透明なストーンが

重しで置いてある。

その下には、

うちの形の紙が重ねてある。

なぜか。

必勝!!!!!!!!!!!!!!

なぜ。

何に勝つ。

なににだあああああ。

意味不明。

手にとってながめてみる。

シールのようだ。

結構使えるかも。。。

なににだあああああああ。

そして、その脇には、カード状のものが

重ねてある。

長方形の名刺サイズ。

赤の枠で囲ってある。

手の上に広げてみると。

赤の縁枠にまざって、

中に金色のゴールドのものもある。

さら、赤枠でも正方形のもの。

小さい長方形。

とうめいなラミネートのようなもの。

なんと、全部名刺。

「おまかせください。結婚は私たちに。」

婚活か。

ふと壁を見る。

Nが他県で婚活パーティ。

おいおい、ちらしだ。

万代橋そば。会場の地図がある。なぜここ関東でなくNがた。

絶対大丈夫。大丈夫なのか。

次。

大将に選んでもらった。

まんじゅうそばが食べられるらしい。

さっそく頼む。

その時。

向こうの廊下の奥から、

一列で歩いてくる一団。

どこかで、みたイメージ。

ゆっくりした、スローな感じ。

フラッシュバック。

後光がさしている。ぶろっけん現象か。

ドップラー現象か。

「「「白鳥先生の、総回診——」。」「」

白い教頭。

白髪か。

もとい。

白い巨頭。

でも一列。赤い服が多い。

もしや、名刺の。

あわてて名刺を見る。

婚活アドバイザー集団だ。

温泉で婚活。なぜ。

それに目をうばわれ、

点になる。

あいよ。威勢のよい声。

突然。目の前に、そばがきた。

ずずずと食べる。すする。

うまい。なんて言っていないかわからない味。

なんとも言えない味。

が、うまい。

一息で食べる。

食べ終わって、カードをそのままに、

奥へぶらつく。と言いか引き寄せられた。

奥は、ちょっとした近代工場のような、

白い白衣に、帽子を、マスクをかぶった人たちが

つけものをしわけている。



こぶりの樽から出して、それを別な樽につけなおしたり、

小さな袋や、タツパに入れている。

なんとなくうるつく。

近代工場のようなのに、なぜかロビー。

客が近くていいのか。

ギャップがはげしい。

突然。パパーと呼ばれる。

誰のこと。

もしかして、

小さい3歳ぐらいの男の子が足にまとわりつく。

いつ結婚した。

というか、自分の子どもなのか。

あらたな結婚詐欺か。。。。

「なんだここに居たのか。」

しわがれた声。初老の男性が近づいてくる。

目は笑っている。

「探したぞ。おじさんも待ってる。」

わけもわからず、

一緒に、もと来た廊下を戻る。

子どもは手をつないでくる。小さな手だ。

戻り際、

誰かとすれ違う。

その時。

どしーん。

まさか。

なぜ。

背負い投げ。

後ろから投げ飛ばされる空中で、

時間が止まっている感覚。

スローモーションでながれていく。

床に、どしーんと、打たれる。

「まいったか。」

見れば、さきほどの浴場で私を激怒した

強面のおっさん。

ニヤリと笑っている。

このまま意識が無くなるのか。

目の前が白くなる。。。。

白い巨塔(後書き)

なし

意識回復（前書き）

なし

## 意識回復

遠くで何かが鳴っている。

なんだ。

あの音は。

ずしーん。ずしーん。

よっ。

とう。

ずしーん。ずしーん。

よっ。

とう。

ずしーん。ずしーん。

ここはどこだ。

白いもやがかかった感じ。

天井の壁。

どこかで見かけた壁。

ゆっくり起きあがる。

何人も倒れている。

どうした。

何かにやられたか。

遠くに巨大な何か。

白い棒が4つ。

ひものようなものが取り囲んでいる。

リング。

そうか。プロレスの最中。

トランス状態に。

ここは学校か。

慌てて窓に駆け寄る。

校庭。

誰かが、声を出して

叫んでいる。

誰だ。

何が起こった。

目をこらす。

陸上部のY。

高飛び練習だ。

朝練やるなああああああ。

うるさい—————！。

そうか、あれは夢だったのか。

よかった。

悪夢だった。



意識回復（後書き）

なし

月光仮面(前書き)

なし

## 月光仮面

ほっとへたりこむ。

なんちゅうレクだ。

そのまま後ろにひっくり返った。

ざわめきを感じて起きる。

教室の時計が5時過ぎを指している。

もそもそと起きる。

なんとなく昇降口に向かう。

まだまだ テレビ。

起きていたような人々が集っている。

毛布を肩までかけてだべりこんでいる。

いろいろな場所から集ってきているようだ。

番組は続いているのか。

外で担任がたばこを吸っている。

背中が寂しい。

校門の方から誰か来る。

すごい早さだ。

何事。

どこかで見たかっこう。

教頭だ。

担任へつかかみかかりそうな

勢い。

らりあつとをくらわせそうだ。

すさまじい勢いでまくし立てている。

外ゴミ箱を頭上に持ち上げ、

だれかがせまる。

思いつきり投げる。

きれいな放物線を

描いて、

ゴミ箱。

がっしやooooooooん。

教頭。

固まる。

投げたやつを追いかけている。

10代は早い。

つかまらない。

いちもくさん。

消えた。

すばらしい月光仮面か。

どーこの誰だか

知ーらなーいけれど。。。。

昭和。

月光仮面（後書き）

なし

白い大きな入道雲（前書き）

なし

## 白い大きな入道雲

翌日

晴天がまぶしい。すかつとした青空。

そして、その日も暑かった。

軽く35度は超えた。

レクに参加した全員。

校長もとい教頭に

反省文を書かせられた。

きつちり4枚。なぜ4枚かは謎。

ごめんなさい。ごめんなさい。と

果てしなく書く、猛者もいた。

「購買のパン、2個で請け負う」

との同学年他学級の甘い誘惑に

心ひかれたが。

（おいおい、代筆業者か。



こんなことで小銭をかせくな。）

内申がどうたら言う輩はいなかった。

それぞれ、みんな学級学園祭だった。

と満足だったのだろう。

（他学級もマネしたが・・・）

ところで、

吉原T。YTは。

もちろん逃れられず。

4月のあの温厚さも

つゆときえ。

7月までの短い間だったが・・・

学校の関係者の多くを裏切り。

そんな先生じゃなかった。

うちらを変えたとの話も

上級生や、一部学校関係者から

ちらほらと。

もともとの性格を隠していたとの話も

ありけり。

幸いPTAは騒ぎ出さず、

一部 S徒指Dぶ朝は、

そうとうのお冠だったが、

特に他学級への波及を警戒。

しかしながら、

Mはんや、看護学校の先生方が

すばやくフォローをいれ、

(なかなかよかったらしい。いろいろと)

重い処分や、飛ばされることもなく。

引き続き、うちの担任。

YTとなったのである。

めでたし。めでたし。

おいそれでいいのか。

夏休み明け、空はどこまでも青く。

白い大きな入道雲が山からわき上がり、  
そしてきつちり35度超えの夏でした。

9月のことであった。

白い大きな入道雲（後書き）

なし

クレアラシル(前書き)

なし

## クレアラシル

話を戻そう。

そのような不思議な国語担任。

Y.T。 吉原T。

私は、国語に強くひかれたのだ。

キャラクターによるところも

大きかった。

今、考えると思う。

そして、ついに登場。

主役キャラ。

英語T。

クレアラシル。

解説しよう。

彼女は、英語のイントネーションを

私らに教えるべく、

口を大きく開け、

開けすぎて口の脇が

やや切れる。

そこで登場白い薬。

なぜか、みんながクレアラシルと呼ぶ。

今振り返ると。

口コミはこわい。

何かET（英語T略）が

「私は、皆さんのために、

皆さんのイントネーション向上のために

口が切れるのよ。 ×      という薬を塗っているの。」

と授業中。熱演もとい

説得???したが

誰も薬名を覚えぬ。

以後、引き続き

クレアラシル。

謎が謎を呼ぶ。



クレアラシル(後書き)

なし

これでいいのか日本人（前書き）

なし

これでいいのか日本人

私は確信する。

小学校から中学校にあがって、

なんとかとかの教科で

少し英語をしたような気もするが。

やはり、はじめのイントネーションが

すべてを決定したのだと思う。

学力は著しく低下した。

そして

2年で恐るべきことが起きた。

外国の先生が授業をすることになった。

いいのに、国際化に備えなくても。

学費もあがるからやめとこつよ。

うちの心のつぶやきは関係なく。

そして始まった授業。

冒頭いきなり。

い・き・な・り。

ゲームをするという。

早口でルールを説明する。

わからない。

英語でなんとかといって、

ゲームはスタート。

なんとなく。

相棒（某ドラマではない）の

ところへ、

徐々に集まる。

「なんだべ。」

いきなり捕まれた。

廊下に直行。

後で知ったが日本語禁止とのこと。

英語授業は日本語禁止と後で知った。

なぜ、説明を始めにしない。

したのだろう。多分英語で・・・

「なんだべ。」

で私の英語人生は終わった。

これでいいのか日本人。

なんだかどっかの番組名だ。

これでいいのか日本人（後書き）

なし

暗黒時代(前書き)

なし

## 暗黒時代

こうして暗い英語時代を過ごした。

まさに暗黒時代。

思えば、ローマ字もかなり怪しかった。

登下校で街に行く。

車の後ろの、社名。

車の名がわからなかった。

TOYO まる

テイオとか読んでいた。

スペイン人が。

ギリシアの人が。

相当やばかったらしい。

(友人談話)

ひいいていたらしい。

密かに。



本人には言えなかったそうだ。

もちろんそうであるから、

学力も低空飛行。

40点が危ないと

言われていたが、

よく40点だいをキープできた。

ときどき、砲弾にあたり

30点圏内に落下しそうに

なるが、

友人の「これ、ETのまちがいだぜ。」

で助かる。

本当に危なかった。

助かった。

あ那时候、私は神を信じた。

追うまいじつど。



暗黒時代（後書き）

なし

スーザンボイル(前書き)

なし

## スーザンボイル

本当に。

本当に、本当に。

しつこいが本当に。

つらい戦いだっただが。

(特に英語。そこを強調)

何とか私は生き残り、

次へのスタートにつくことができた。

(内容は、高校ラブソティ 純情編

本編終了後着手予定。「期日未定」

もし、後日お見かけの時は読んでおくんない。)

さらに、私は幸運の青い鳥。

もとい、黄色いはんかち。

もとい、白い北野天満宮のお守りのおかげで

本当に最後は神頼みしか残されていなかった。

父も、母も、お参りに行ってくれたらしい。

本当に、

本当に、本当に、

これで自分の人生。運を使い果たしたと

思った。

後で、

それがまちがいで

なかったことが証明されるのだが。。。。

それは、また別の話……

さて、3月。

職員室でも話題の、奇跡の人。

時の人。

D高校のスーザンボイル。

祝 卒業。

こうして

私は

九死に一生を得て、

ばかだ大学に合格することとなったのである。

桜がその年はやけにきれいな、春3月であった。

スーザンボイル(後書き)

なし



海辺の街(前書き)

なし

## 海辺の街

きりよく0時を回って  
新しい章に突入できそうだ。

大学は、海辺の街だった。

それでも

圏のはずれだ。

なんでもその大学は、

はじめは都会から離れ、

心をきれいにし、

野に抱かれ、自然を愛し、

そして、あるところで

都心にうつるらしい。

何を心配しているのだろう。

しかしながら、私は金銭面で

助かったと思う。

そして、自分のあか抜けなさからも  
よかったと思う。

とにもかくにも海ははじめてだった。

穏やかな海。

たおやかな海。

誰かと行くのだろうか。

そんな事を流れゆく

電車の窓から考えた。

そして、

まったく。

海を見て、

山さくらしていたける。

とつてもめずらさかっただけ。

言いそうになった。

本当に田舎者であった。

部屋の真ん中に座る。

空虚な時間が流れる。

何も無い。

夕方の赤い日がかかる。

暗くなる前に

出かけた。

角をまがったすぐに

全国チェーンのCMでおなじみの

コンビニがあった。

近い。

迷わず入る。

学生街か。

集っている。

そして、

夜

一人で

がらんとした部屋で

350のビールを飲んだ。

コンビニで未成年ですか。

と聞かれたらまずいと

思ったが、

そこら中で

学生が飲んでるのか。

何も聞かれなかった。

はじめての飲酒。

一口飲む。

心底。

苦かった。

今の自分を指しているのか。

学校で

あれだけ、

皆が

騒いでいた。

泡の出るジュース。

まずかった。

気がしれなかった。

泣けてきた。

( テレビは欲しいと。。。 )

海辺の街（後書き）

なし

ダチヨウ倶楽部(前書き)

なし



## ダチヨウ倶楽部

そして

自分でわからなかったが

なんだか落ち着かない

華やかな雰囲気だからか

なぜだ

女子が多いからか

全体の4分の1しか男子がいない

聞いていない

(ダチヨウ倶楽部か)

(いやかえってダチヨウ倶楽部くらいの  
明るさならよいが・・・)

気が重い

ばんがらな自分には合わない

思った。

男子高出身者には  
つらい

まさに

慣れていないからだと思  
う

チャラチャラ系男子も  
多い

そのようなところが  
ところどころ

ぱあっと盛り上がっている

それで全てかと思うが

沈んだところも  
つらい

テンションのやたらと  
高いじょしーには

目のやり場に困るし

愛想笑いも疲れる

そして

一歩間違つと

怪しい人

左右に座るのも

もちろん

じょっしー

氣疲れ

椅子の左右の肘当て？

も考えもの

どーんと座りたい。

式が始まって

何人目か、

何人が忘れたくらいの来賓の挨拶時。

突然。

春休み

暇でみたCSの

健さんを思い出した。

男はだまって。。。

自分にもあの生き方が出来るのだろうか。

世界が違いすぎる

ダチヨウ倶楽部(後書き)

なし

21話の後に読んでください おハイソ(前書き)

なし

21話の後に読んでください おハイソ

インターネット接続トラブルによる

21話の後のこちらが22話です。

22話は、23話になります。

訂正いたします。

重ねてすみません。

上京してしばらく、

入学式があった。

ややハイソな感じのする

自分に似つかない

テレビ的な

学校だと思った。

おしゃれた。

ただ、沿道の桜はきれいだった。

校舎か。

本当に綺麗だった。

満開が過ぎ、

散りゆく景色が

心を揺さぶった。

予備校に通うA。

家業を継いだS。

敗者の弁か。

自分は

よくまあ、上京できたものだど、

金銭面を含めて、おふくろに感謝した。

そして、

驚くべきことに、

当時、別なおふくろさんも世間を

にぎわせていた。

ぼうを持った人の家が、



自分の家におもかげが似ていた。

落ち着かない学食のテレビで、

見た。

視線に困ってテレビなのか。

そんなことを覚えている。

式には、

母は、上京はしなかった。

同じく無骨な父も。

同じだった。

式では父兄の姿が目立った。

ブランドがわからない私にも

一見で高いとわかった。

自分は、量販店で買った。

恥じてはいない。

ネクタイも

結へず、

小一時間苦戦した。

21話の後に読んでください おハイソ(後書き)

なし

トンネルを抜けると・・・(前書き)

なし

トンネルを抜けると・・・

トンネルを抜けると

雪国だった。

遠いどこかで

誰かが言っていた。

その静寂とは別に

とても

ざわついている。

いや

浮かれた雰囲気だ。

N県の県境まで行くらしい。

山

また

山の感じがする。

さすがに高速なので、

風情は遠い。

すうっと流れる感じがする。

バスは何台も連なっているそうだ。

私は、

やや寝坊し、

本当は

行かなくてもいいか

と考えた。

しかし

学生課の職員に

行かない者は

「お尋ねものになる」

「私の言うことを聞きなさい」

30代後半 女性職員

みつこ  
に言われ

やや高圧的

いやかなり高圧的

というか脅迫か・・・

最後まで抵抗したが

名簿に

一つだけ

見事にぽっかり

空いている空欄に

をつけさせられた。

トンネルを抜けると・・・(後書き)

なし



君の名は。。。(前書き)

なし

君の名は。。。

大学を続けるか。  
それとも。

それが踏み絵らしい。

担当教官への

学生のお披露目もあるので

絶対の参加

服従？

だそうだ

大学は自由な思想？  
ではなかったのか。

そして

来ない者は

左遷！！！！

村八分の

憂き目にあつらしい。

そういった流れ者に

憧れる自分が

こわい。

しかしながら

昨今の少子化

大学としても

いきなり

退学者を出すわけには

いかないと考えているらしい

・・・

それが踏み絵と説得か。

果てしなくだるさを感じる

話をだいぶ前に戻す

実は

入学式でシラバスという

電話帳かと

見違つ冊子を渡された

この帳面から

自分の

選択する単位教科を

選ぶらしい

調子のいいヤツは

そこから単位が簡単に取れるものを

入部しようとしている

いや

するのか

サークルの先輩から

聞き出すらしい

もちろん

私は

まだ開いていない

おそかれ  
はやかれ

また

みつこに呼び出される  
であろう。

（もちろん

みつこは私が

勝手に付けた名前なので

本人の名を知らない。

君の名は。。。

どこかで聞いたフレーズだ。）

君の名は。。。(後書き)

なし

偽善者（前書き）

なし

## 偽善者

そんな私であるので

自分がどこに所属しているかわからない

発車ぎりぎりの

バスで

多分

私がこないだろうでいらつく

学生課職員 よしおに

学籍番号を言い

最後のバスであるこのバスによしおと共に乗り込んだ

いや押し込まれた。

本当に流れ者はいなかったのか

あと少しで流れ者に

なれたかと思うと

また

健さんを思い出し  
少し



涙ぐんだ

去る者は追わず。

後日談だが

去る者が若干名いたそうだ。

永遠にたどりつかない

尊敬。

さてそんな

私の氣持ちにはおかまいなく

バスはどんどん進んでいく

はじめの頃こそ

携帯片手にぺこぺこ

頭をさげ

さも私は悪くないを

演じていたよしおも

快調にすすみ

先発隊に

近づくことを

確認できると

不機嫌さがなくなったようだ

しかしながら

それに反比例しながら

私の心は沈んでいく

何年も前からの親友

みたいな顔で

座席でしゃべる

周りの人々

なぜか

最後尾が空いていて

本当によかった

みんなの無言の

追い立てか。

一人だ

すがすがしさもあり

少しの寂しさも  
あるが

氣疲れするよりは  
ましか

どこでもいる

おせっかいな  
ヤツが菓子  
をまわしながら

情報収集にこないうちに

眠ってやるうと

眼をとじた

幸い自分のアピールに

精一杯の人々だらけで

一握りの

偽善者もなく

平和に

私は

深い眠りにつくことができた。

偽善者（後書き）

なし

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3881y/>

---

風のグラスゴー

2011年11月22日04時02分発行